

# 確かな学力を支える「学びに向かう力」の育成

～読解力の向上を基盤とした学習指導を通して～

## 平成29年度 大津町小中学校共通実践事項

- (1)話し手に体を向けて聞く (2)「めあて」と「まとめ」の明示  
(3)家庭学習の習慣化 (4)県学力調査に向けた課題克服プリントの計画的活用

5月21日(月)  
徳淵

今回は「板書」についての通信です。

室小では平成28年度の校内研から、「板書」が一つのキーワードになっています。校内研通信のNo. 1 に記載していたように、板書の型の詳細を職員全体でマニュアルをつくり、固めようという方向性は今のところなしです！ 教科の特質に応じた板書の在り方や先生方が自分なりのこだわりや書きやすさのある板書の仕方があると思うからです。また、マニュアルにこだわり過ぎると、「学びに向かう力の育成」に結びつかないとも思います。

ただし、昨年度の大津町小中学校共通実践事項にもあるように、「めあて」と「まとめ」の明示については、基礎的な板書の在り方として徹底していきましょう。

「めあて」「まとめ」の設定の仕方については、授業研を通じて研修をしていきます。今回は単純に「なぜ、めあてとまとめを書いた方がいいか」について、先生方数名に回答いただきました。

### 米村先生

- ・この1時間で何を学び(めあて・目標)をどう理解・解決(まとめ・評価)したかを児童も教師も認識するため...!? かなあ。
- ・板書はこの1時間を1枚の視覚シートにしたもの。

### 清永先生

今日は何について考え、何を学んだのか。入口と出口をはっきりさせることで、途中で思考の迷子に陥った子ども「今日はこんなことを考えたんだ」と、自分なりの解釈をすることができると思います。大人でも長文で要約があったり、「ポイント」「まとめ」コーナーがあったりするの、似ているかなと思います。

### 倉田先生

「視覚的に跡を残す点」が大切だと思います。

### 城先生

「めあて」は、その時間に何を学習していくのかを子ども自身が確認するため。  
「まとめ」は、その時間に何が分かったのか、何を学んだのかを子ども自身が、自分の言葉で確かめるためかなと思います

### 米多先生

授業の冒頭で取り組むべき問題や学習のめあてを明確にすることで、子どもたちは見通しをもつことができる。(何を学ぶのか) 最後にめあてに応じたまとめをし、子どもたち自身が学習をふり返ることで、何を学んだのかを確認できる。(秋田県はここが徹底されていると聞いている)

めあてとまとめを考えることで、教師自身が学習内容を焦点化でき、1時間の見通しがたつ！

### 古川先生

「めあて」は、児童の学習活動（言語活動を含む）を方向付ける”コンパス”や”羅針盤”のようなもの。学習が滞ったり、違う方向へ行きかけたりするときは、常に「めあて」に戻ることが大切なので、しっかりと記すことが大切だと思います。また、その分、研究授業等ではその「文言」にこだわりたいです。こうした練習を経ることで、日常の授業の「めあて」決めが容易にできるようになると思います。

「まとめ」は、児童が本時で「何について考えたのか」「何を学んだのか」「何を学んだのか」「何ができるようになったのか」を意識して獲得できるための視覚的支援になる。だから、しっかりと記すことが大切だと思います。

よく言われることですが、「本時の目標」「めあて」「まとめ」の3点に整合性があるのか…を大切にしたいと思っています。

### 池邊先生

めあてを示すことで、学習目標（何を学ぶのか）を明らかにし、みんなで見通しをもつことができます。まとめを示すことで、本時の学習により分かったこと（何を学んだのか）をみんなで確かめあうことができます。

### 徳洲

「めあて」と「まとめ」を子どもたちとつくる学習が楽しいから😊

### 後藤先生

学習の目標・ゴールを参加者（教師と子ども）全員で確認（共有）するために必要だと思います。

### 横尾先生

今日の一時間で、何を学ぶのか、何を学んだのか、子どもも教師もわかるためだと思っています。子どもたちの疑問（国語であれば、初発などから〇〇さんの？など）からスタートすると、子どもたちも前のめりに学べると思います。

上記のような、回答をいただきました。結論からいうと、

## 「めあてとまとめは絶対に書くべき」

ということです。「必ず書く」という前提で日々の授業を行っていきましょう。図工でも、学活でも、家庭科でも、音楽でも、外国語でも、大げさですが、単元末の習熟の時間やテストの時間でも「めあて」は設定できますし、それにつながる「まとめ」も重要なものになっていきます。

「めあて」と「まとめ」の質を高めていく前に、まずは毎時間この2つを板書することをお互いに徹底していきましょう！ 学年部で、ちょっと授業中や休み時間に教室を覗き合っ、どんな「めあて」と「まとめ」をしているかを見合うだけでも、勉強になりますよ。

で、け、運動会の練習時間の影響を受  
一、三十分間で若干無理したの  
例、中身が薄いです…。

5/17 P.28 **めあて** 424 ÷ 7 の筆算はできるのか

2 3 4 5 6 8 9

**めあて** 424 ÷ 7 の筆算はできるのか

ふりだ!!

4 ÷ 7 できない!

424 ÷ 7

かできない?

でき3!!

りじ、筆算は?

書かない → 60

7)424

42

42

4

0

4

4 ÷ 7 できない

4 ÷ 7 = 0 あまり 4

**まとめ** 424 ÷ 7 の筆算はできる。ただし、百の位に商がたかない。

**学習感想** ここに「まとめ」がかることも…